板橋区立エコポリスセンター

登録環境団体 ハンドブック
2023年度

ごあいさつ

板橋区立エコポリスセンターは、1995 年に開館して以来、様々な講座やイベント等の事業を企画運営してまいりました。

おかげさまで登録環境団体の皆さまをはじめ、区内在住・在勤・在学の皆さまや、区内事業者の方など、多くの方々がエコポリスセンターをご利用いただくようになりました。

ご登録いただいている登録環境団体は、新型コロナウイルス感染症のため活動を縮小なさっている団体もあり、2023 年 6 月現在で 19 団体となります。日々の団体の皆さま独自の活動だけでなく、エコポリスセンターで行われる様々な講座やイベント等にもご協力をいただいております事、心から感謝申し上げます。

この冊子は、登録環境団体の皆さまにご協力をいただき、登録環境団体の皆さまの情報をまとめたものとなります。団体の皆さま相互の情報交換はもとより、一人でも多くの環境活動に興味関心をもたれている方々にご覧いただき、環境活動への意識や関心を高め、環境団体の皆さまとともに板橋区を中心にご活躍される方が増えますよう願いを込めて作成いたしました。ご高覧いただき、今後の活動や事業などでご活用いただけましたら幸いです。

今後も、エコポリスセンターでは各事業の充実はもとより、地域の環境活動の拠点となり、様々な情報発信ができますよう一層努めてまいりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

2023 年
板橋区立エコポリスセンター

登録環境団体 （50音順）

1. いたばしエコ塾
2. 板橋切り絵愛好会
3. 板橋区・生活クラブ運動グループ地域協議会
4. 板橋区の蝶を調査する会
5. いたばし水と緑の会
6. 一般社団法人 水と緑と命のネットワーク
7. エコ紙漉きはがき絵の会
8. エコポリス板橋環境行動委員会前野町四丁目支部
9. NPO法人 いた・エコ・ネット
10. NPO法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
11. NPO法人 生ごみリサイクル全国ネットワーク・板橋
12. NPO法人 水未来人
13. おもちゃの病院エコポリス
14. おもちゃの病院板橋
15. けやきの公園・グループけやき
16. こより絵虹の会
17. 裂織りの会
18. 新婦人絵手紙サークル
19. 和紙ちぎり絵の会

※ 掲載は50音順で、2023（令和5）年6月時点の団体情報です。

環境団体名称	いたばしエコ塾（ジュク）
代表者（事務局）	森木（モリキ）　美登利（ミドリ）
連絡先	メールアドレス：eco3r.juku@gmail.com
登録人数	7名
団体URL	
活動内容	・環境に関する勉強会 ・環境のための啓発活動 ・環境に関する政策提言 ・その他環境活動　　を掲げています ＊2023年は、プラスチック3Rについて毎月一回の勉強会のほか、施設見学やヒアリングを行っています。
団体紹介	・団体は、区が実施している環境教育指導者養成講座（板橋エコみらい塾）の卒塾生で構成しています。 ・現在の板橋区の環境課題をプラスチックごみリサイクルの推進と捉え、当課題解決のために住民意識の向上を目指すことを当面の目的としています。 ・複雑なプラスチック問題を分りやすく区民・子ども向けに情報提供するための教材を開発する予定です。
その他・写真	

環境団体名称	板橋切り絵愛好会（イタバシキエアイコウカイ）
代表者（事務局）	守内 近良（モリウチ チカラ）
連絡先	TEL：03-3968-0545 メールアドレス：mo_ri2200@yahoo.co.jp
登録人数	22名
団体URL	
活動内容	1.和紙を使った剪画(切絵)を楽しんでいます。 2.和紙は環境に優しく、自然環境の中で比較的容易に循環(再利用)出来る素材と言えます。和紙の原料の多くは栽培されていて、自然の山等の環境を壊さない。 3.和紙を使って、自分達の環境や周辺の草花などをじっくり観察しながら、切り絵の作品を創り上げています。 毎年公募展や個展・グループ展等でその成果を発表しています。
団体紹介	・切り絵を通して地域との交流を目指し、切り絵の技量の研鑽に努める。 ・切り絵作品の発表の場を求め積極的に公募展やグループ展等に参加出来る。 ・日本剪画美術展や関西扇面芸術展・よみうり美術展・中美展・日仏現代術展等に出展できます。 ・小学生低学年の方でもハサミを使う事で切り絵が出来ます。
その他・写真	・板橋切り絵愛好会のみで作品展示をやる。（1ヶ月ほど） ・その他ワークショップで切り絵体験も実施し切り絵をよりご理解いただく。

環境団体名称	板橋区・生活クラブ運動グループ地域協議会
代表者（事務局）	今澤　てる子
連絡先	
登録人数	10名
団体URL	
活動内容	1.自然環境にやさしい3R（リユース・リデュース・リサイクル）の推進活動 2.石けん推進活動 3.学習会・講演会などの企画開催 4.その他、目的の達成に必要な活動
団体紹介	私たちは、今ある資源や自然環境を大切にし、食べ物、エネルギー、福祉をできる限り自給・循環するサステイナブルな考え方を地域社会に広げ、実践する団体です。
その他・写真	

環境団体名称	板橋区の蝶を調査する会（イタバシクノチョウヲチョウサスルカイ）
代表者（事務局）	神山（カミヤマ）　健次（ケンジ）
連絡先	TEL：03-3932-4782 メールアドレス：k_kami@navy.plala.or.jp
登録人数	22名
団体URL	
活動内容	板橋区で見られる蝶の観察を行っています。活動時期は3月～11月で、月1回（原則第2土曜日）板橋区内の公園や荒川河川敷等で観察会を開催しています。観察結果はエコポリスセンターのサイトに掲示していただいております。また、板橋区で見られる蝶のデジタル図鑑をエコポリスセンターのホームページに掲載協力をしています。なお、蝶の生態を調べる為に飼育も行います。板橋区外での蝶の観察も実施しています。
団体紹介	2005年にエコポリスセンターの地域自主活動グループとして発足しました。会費は無料です。蝶観察会開催日の1週間前に観察日、集合場所等をメールでお知らせします。2019年3月にエコポリスセンターのご支援の下「板橋で見られる蝶－デジタル観察図鑑」を作成し、エコポリスセンターのサイトに掲載して頂いています。
その他・写真	

環境団体名称	いたばし水(ミズ)と緑(ミドリ)の会(カイ)
代表者（事務局）	世話人(セワニン)：坂本郁子(サカモトイクコ)　事務局(ジムキョク)：瀬田(セタ) 政江(マサエ)
連絡先	TEL：090-4618-1295(坂本)、090-1423-9894(瀬田) メールアドレス：mizumidori@nifty.com
登録人数	28名
団体URL	http://mizumidori2.eco.coocan.jp
活動内容	赤塚城址にバッタ広場（草原ビオトープ＊）、赤塚ため池公園内にとんぼ池（ビオトープ池＊）をつくり、観察と手入れを行っています（第２日曜日、第４土曜日）。 また街なかの樹林地である区立日暮台公園(板橋区前野町）で崖線樹林地の観察を続けています（第１日曜日）。 活動報告と身近な自然情報を掲載した会報「みずみどり」を隔月発行しています。 ビオトープとは、私たちは生き物が暮らせる場所と考えています。
団体紹介	１９９７年設立以来、区内と周辺の残された自然を保全することを目的に活動しています。身近な自然を楽しみ、自然から多くのことを教えてもらいます。 外に出て、身近な生き物達をウォッチングしましょう。そして人間も自然界の一員であることを感じてほしいです
その他・写真	会費：年2,000円（会報をお送りします）

環境団体名称	一般社団法人水と緑と命のネットワーク イッパンシャダンホウジンミズミドリイノチ
代表者（事務局）	幸田　光代 コウダヒロヨ
連絡先	TEL : 03-3939-1202 メールアドレス : koda@ecostation.gr.jp
登録人数	7名
団体URL	
活動内容	2022年から「光が丘公園赤塚口花咲かプロジェクト」として、この公園の板橋区側表玄関と言える赤塚口にある石のモニュメント周辺に花壇を作っています。春は原種チューリップ、夏はギボウシ、ヘメロカリス、ユリ、秋はコスモス、そして冬はクロッカスなど、…。「花は看るもの」という言葉を手本に、土の中の種や球根から芽が出て、茎や葉が成長し、花の蕾が膨らみ、見事な花を咲かせて、再び種や球根に翌年のエネルギーを託すという、生命の神秘的なサイクルに日々お付き合いしながら、楽しく管理をさせていただいています。また、赤塚新町小学校の生徒さんも生活科の授業の一環で、夏秋咲や冬春咲の色とりどりの１年草の花を植えていただいています。公園を訪れる市民にとって憩いの場となるオアシスと同時に、時代を担う子供たちにとっての貴重な環境学習の機会を提供できればと願っています。
団体紹介	2022年春の発足当初は、「光が丘公園赤塚口花咲かプロジェクトの会」という名称でしたが、23年度から「一般社団法人水と緑と命のネットワーク」に変わりました。活動内容はこれまでと同じです。 活動日:随時 活動場所:光が丘公園赤塚口
その他・写真	４月に咲いた花咲かプロジェクト原種のチューリップの写真

環境団体名称	エコ紙漉(カミス)きはがき絵(エ)の会(カイ)
代表者(事務局)	鈴木(スズキ) 伸子(ノブコ)
連絡先	TEL:03-3933-2760
登録人数	8名
団体URL	
活動内容	・乳飲料パック(牛乳パック)等からハガキを作る ・手作りハガキに水彩、貼り絵、切り絵、新聞のカラー広告等でのちぎり絵で作品にする ・牛乳パックを友禅和紙、布等の芯にして工作し、カードケース、箱等の作品にする
団体紹介	紙漉き体験を通して、資源の大切さを子ども達に伝えたい。乳飲料紙パックからパルプを作り、紙漉きを体験し、出来上ったはがきに工作をする。
その他・写真	

環境団体名称	エコポリス板橋環境行動委員会 前野町四丁目支部
代表者（事務局）	山田 宣直
連絡先	TEL：03-3960-2208 メールアドレス：y4470.nice.shot@jcom.home.ne.jp
登録人数	役員・理事：47名　総世帯数：356世帯
団体URL	
活動内容	1.エコポリス板橋環境行動会議のもと、環境への負荷を低減するために春秋の板橋クリーン作戦、ポイ捨て防止キャンペーン等を行い、地区内の清掃、地区の美化運動を積極的に推進している。 2.清潔で快適な街を造るため、ごみ取集場所の管理や資源ごみ分別回収し、ごみの減量に積極的に対応し、年51～56ﾄﾝの実績がある。 3.緑のカーテン育成講習会、ガーデニング講習会、桜祭り、環境講演会、合同施設見学会などに参加し、暮らしやすい環境の達成を目指している。
団体紹介	板橋環境行動委員会前野支部に属し、板橋クリーン作戦、ポイ捨て防止キャンペーン、ガーデニング講習会に参加している。
その他・写真	エコポリスセンター屋上のビオトープから、トンボや蝶々が舞うようにならないかと思っている。

環境団体名称	NPO法人(ホウジン) いた・エコ・ネット
代表者（事務局）	横山(ヨコヤマ) れい子(コ)
連絡先	TEL：090-7223-4689 メールアドレス：r-yokoyama@jcom.home.ne.jp
登録人数	15名
団体URL	Facebook.com/itaeconet
活動内容	1.自然や文化などの保全や復元に関する事業 2.環境保全型のまちづくりに関する事業 3.高齢者が暮らしやすい環境をつくる事業 4.持続できる社会を目指した環境教育（学習）等に関する事業 5.その他目的を達成するために必要な事業
団体紹介	再生可能エネルギー利用普及、省資源省エネルギーや地産地消及び保全。地区内の自然まちづくりに関する認識を深める。自然環境の保全、人と自然の調和のとれた循環型まちづくりを広げていく活動。 【活動単位】 A：いたばしオーガニックコットン育成・普及活動 B：福島被災地復興支援活動 C：自然エネルギー利用普及・啓発活動 D：環境学習活動 E：5R推進活動
その他・写真	

環境団体名称	NPO法人（ホウジン） センスオブアース・ 市民（シミン）による自然共生（シゼンキョウセイ）パンゲア
代表者（事務局）	寺田（テラダ） 茂（シゲル）
連絡先	TEL：03-3960-6052 メールアドレス：info@npo-soe.jp
登録人数	43名
団体URL	www.npo-soe.jp
活動内容	センスオブアースは、未来を担う子どもたちへの環境学習を中心にすえ、2歳児までの親子から、小・中・高・大学・社会人、すべての方々を対象に、楽しい学習を進めている。活動している人に、学生や若い人が多いのも特色である。 プログラムづくりは、学生たちも参加して、創作童話や紙芝居もすでに14本作り、手作りのプログラムを提供している。例えば、「いもむしのたからぶくろ」は創作童話の紙芝居を見た後、たからさがしカードを手に、目をキラキラさせて、鳥や風の声を聞いたり、生きものを見つけたりして、シールを貼り、あっという間に自然に接近していく。どんな子どももほぼ例外なく集中して取り組んでくれる。その結果、生きものなど苦手だった子も身近な自然に親しみを感じていくのがわかる。 また、循環型社会をめざす、食育として、春、大豆を育てようから、冬、みそ・豆腐作りへプログラムが続く。生活の中のものづくりとして、春、綿を育てようから、秋、糸をつむごうや、布を織ろう、幼児には綿人形作りなどへ続く。 エネルギー学習として　、3つのなかよしシリーズ～風となかよし・水となかよし・お日様となかよしは人気が高い。風と、水はそれぞれ、発展プログラムとして、どちらも発電実験が大成功して、感動を呼ぶ。総合的なプログラムとして、「50年後も住み続けたい私のまちを考えよう」は、卒業期の児童や生徒に未来へ向け、夢を持ち、希望へ向かって生きる力を育てる総合的なプログラムを提供している。 最新のプログラムとして「食品ロスを減らそう」「プラスチックごみを減らそう」「アゲハチョウを育てよう」「環境キャリアを考えよう」 など、続々と新規プログラム開発を行っている団体である。毎月、ニュースを3,500部発行し、毎月ワークショップを行い、学生たちと学びつつ、開発を重ねている。出張授業を基本とし、児童館・保幼、小中、大、成人、放課後のあいキッズなど、子どもがいるところへ楽しいプログラムをもって、いっしょに環境を感じ取りながら、地球への道案内人を果たしていく団体である。
団体紹介	NPO法人センスオブアースの4つの特徴 ひとつ　いつも子どもが身近な自然となかよくできる楽しいプログラムを作っています。 ふたつ　このプログラムを使って、年間1,500人～3,000人の子どもたちや大人の人と、楽しい環境遊びを行っています。 みっつ　この活動の様子を毎月ニュースに載せ、板橋区内公私立保育園・小学校の先生方、区役所、新聞社、個人の方々へお届けしている。 よっつ　毎月第四日曜日に若者とともにワークショップを開催。4月から3月まで、計9回程度 内容 ・環境学習の体験 ・環境学習プログラムの教材づくり～例としてプログラムに合った紙芝居づくりなど ・関心のあるテーマについての研修・調査をまとめる ・区民に向けて、エコポリゼミナールで講演会実施。レポート発表も行う。
その他・写真	

環境団体名称	NPO法人(ホウジン) 生(ナマ)ごみリサイクル全国(ゼンコク)ネットワーク・板橋(イタバシ)
代表者（事務局）	蓮沼(ハスヌマ) 浩子(ヒロコ)
連絡先	メールアドレス：hasukhmr@siren.ocn.ne.jp
登録人数	12名
団体URL	
活動内容	環境に負荷を与えない持続可能な「資源循環型社会」の構築に向けて、生ごみのたい肥化や飼料化・バイオマス化による有効活用・ごみ減量　更にはコミニティコンポストの活動を通じて、ライフスタイルの変革を楽しめます。
団体紹介	**土からのSOS!** 地球が気の遠くなるような時間をかけて自然のサイクルをくりかえしながらつくってきた土。植物の生育に要るものを豊かにつくり出してきた土。足もとの土の中がいのちあふれる世界だということを・・・。 モグラ、ミミズ、ワラジムシ・・・そして無数の微生物たちが土の上の生き物たちのいのちを支えるために休みなく働いているという事！土は生きています。土が力強く生きかえるために「土からもらったものをは土へ還す」という自然のルールを思い起こし**生ごみのリサイクルを！**始めましょう。
その他・写真	

環境団体名称	NPO法人(ホウジン) 水未来人(ミズミクニン)
代表者(事務局)	矢作(ヤハギ)　裕子(ユウコ)
連絡先	TEL：090-8949-3718 メールアドレス：mizumikunin@gmail.com
登録人数	5名
団体URL	http://mizumikunin.blog.fc2.com/
活動内容	【海辺のクラフトワークショップ】： 海辺で拾った宝もの（貝がら、シーグラス、流木、海藻）を使った作品つくり。 例：海藻おしばアート、シーグラスのランプ、フォートフレーム制作など。
団体紹介	・海辺の環境教育やシュノーケリング・磯遊びなどの自然体験活動を通じて、主に子どもたちに自然の大切さや危険回避などの安全教育、障がい者の海辺やプールでの活動支援を行っています。 ・海から遠く離れた街で日々暮らす人々に海を身近に感じ、親しみを持つことで自然環境への保全意識を高めていく活動にも力を入れています。
その他・写真	海辺のお散歩会と称して、海辺のプラスチックゴミの清掃や漂着海藻などの観察を定期的に行っています。夏季は、シュノーケリングや磯遊びプログラムも開催しています。

環境団体名称	おもちゃの病院(ビョウイン)板橋(イタバシ)
代表者(事務局)	粂谷(クメヤ) 誠(マコト)
連絡先	TEL:代表 03-6782-3005、事務局 090-1807-8365
登録人数	10名
団体URL	
活動内容	1.エコポリスセンター内で「おもちゃの病院」運営をする。 2.エコポリスセンターで要請されるイベントへ参加をする。 3.地域における親子の会話からおもちゃの病院普及 活動をする。 4.会員相互の親睦に関すること。
団体紹介	環境活動の一環でもあります再資源5R活動のRepair(修理して使う)・Reuse(再利用する)・Recycle(再び資源として利用する)は循環型社会の基本理念であり、私たちは理念をバックボーンに日々切磋琢磨して技術向上・人としての心を磨くよう努力しています。 また、親子の会話を通じて物を大切にする心や意識が育まれるよう、地域の方々と共に子どもの心の育成に挑んでいます。 活動日はエコポリスセンター内、毎月第2土曜日AM10:00～15:00
その他・写真	1.音・光・動きを通した安価な電子機器工作キットの組み立て講習会(環境に関したLED・パネル等)。 2.簡単なおもちゃの修理の講習会 3.エコな工作講習会。 4.使わなくなったパソコンを再生して使いましょう。

環境団体名称	おもちゃの病院(ビョウ イン)エコポリス
代表者(事務局)	阿部(アベ) 曉(サトル)
連絡先	TEL:代表 03-6782-3005、事務局 090-1807-8365
登録人数	6名
団体URL	
活動内容	1.地域における保育園・小学校・中学校・児童館・ご老人ホーム等における出前授業・おもちゃの修理の活動運営を図る。 2.エコポリスセンターで要請されるイベント(行事)へ参加をする。 3.地域における親子の会話からおもちゃの病院普及活動をする。 4.会員相互の親睦に関すること。
団体紹介	基本はおもちゃの病院と同様ですが、エコポリスセンターを中心に地域における小・中学校・児童館・保育園・ご老人ホーム等の出前授業とした活動をしています。活動日は不定期でご依頼内容によります。
その他・写真	1.音・光・動きを通した安価な電子機器工作キットの組み立て講習会(環境に関したLED・パネル等)。 2.簡単なおもちゃの修理の講習会 3.エコな工作講習会。 4.使わなくなったパソコンを再生して使いましょう。

環境団体名称	けやきの公園(コウエン)・グループけやき
代表者(事務局)	吉田(ヨシダ) 隆(タカシ)
連絡先	TEL:03-3960-5743 メールアドレス:takashi-yoshida@sake- yoshitokuya.com
登録人数	21名
団体URL	http://www.groupkeyaki.kiramori.net/
活動内容	1.前野町一丁目けやきの公園の“生きている公園”としての継続・維持・管理・整備活動団体。 2.年度計画をもとに地域活動を主力としたイベントの開催。 3.会員相互の親睦に関すること。 4.ネットワークを広め環境イベント活動に積極的参加。
団体紹介	地域密着型公園“生きている公園”として地域住民の交流の場、自然環境との共生を目指しています。遊具設備はありませんが、非常事態時の防災設備を備えています。 1. 毎週日曜日にけやきの公園内とその周辺の清掃活動として、 ①公衆トイレの清掃 ②緑地の手入れ ③遊び場の清掃 ④花壇・花々の植え替え・雑草の手入れ・柵、杭の補修 ⑤樹木の手入れ剪定など その日の最後に参加された皆さんひとりひとりの“報告・連絡・相談”等のコミュニケーションを図っています。 会員は区内全域から来られています。 2. 年度別活動計画は6回、季節に対応したイベントとして、 ①餅つき大会 ②こいのぼり大会 ③七夕まつり ④陽だまりコンサート ⑤防災体験 ⑥芋煮会 などを実施しています。
その他・写真	1.公園を日々清潔に保つための、清掃、管理の仕方。 2.手軽に栽培して、美味しく飲めるハーブの栽培。 3.季節に応じた簡単な鉢植えの技術等。

環境団体名称	こより絵虹(エニジ)の会(カイ)
代表者(事務局)	植木(ウエキ) 啓子(ケイコ)
連絡先	TEL:03-3955-7608
登録人数	5名
団体URL	
活動内容	こより絵を通じて相互の交流を深めボランティア活動の推進を図る。
団体紹介	私たち虹の会はこより絵愛好者が充実した日々を過ごす為に集い、日本の文化でもあるこよりを通じてボランティア活動の推進を図り、広く伝えることを願って活動します。
その他・写真	1.小学生対象　昆虫などのこより絵作成。 2.貝を使用してのおひなさま作り。ここでもこよりを使用します(対象大人)。

環境団体名称	裂織りの会（サキオリのカイ）
代表者（事務局）	戸田 里子（トダ サトコ）
連絡先	
登録人数	5名
団体URL	
活動内容	古布の活用の一つとして裂き織りがあることを知ってもらうため、作品づくりやエコポリスセンターの事業にワークショップで参加しています。また、活動日では体験希望や織りの相談を行います。
団体紹介	「裂き織り」はエコポリスセンター開設とほぼ同時期に地下1階ホールホワイエで活動を始めました。裂き織りは「もったいない」とか「リサイクル」という側面がありますが、布を裂いて織る事で新しい模様が生まれる面白さが魅力でもあります。活動日であれば予約なしで体験ができる区内唯一の場所です。
その他・写真	

環境団体名称	新婦人絵手紙サークル（シンフジンエテガミ）
代表者（事務局）	吉澤　悦子（ヨシザワ　エツコ）
連絡先	TEL：03-3967-9420
登録人数	13名
団体URL	
活動内容	私達、絵手紙サークルは、ハガキはもとより、扇子、うちわ、大きな和紙等を使い、自然の花や植物、野菜を題材に取り入れ、作品を製作し色々な場所で展示することで、観てくださる方々が穏やかに幸せを感じることが出来ますよう、努力しています。又、エコポリスセンター主催の“環境なんでも見本市”“夏休みエコスクール”等にも参加しています。
団体紹介	私達のサークルは1ヶ月に3回の例会があります。気楽でなごやかなサークルです。美しいものを見て、ハガキに書き切手を貼って投函、送られた人は喜びでいっぱいになるでしょう。そんな喜びを感じながら、また書きたくなるのです。絵はもとより文章も上手になります。ぜひご一緒に学びましょう。
その他・写真	

環境団体名称	和紙(ワシ)ちぎり絵(エ)の会(カイ)
代表者（事務局）	白石(シライシ) 環(タマキ)
連絡先	
登録人数	10名
団体URL	
活動内容	大人の方達には和紙の特徴をいかして、花、風景、静物、等の作品作りを、子供達には手で直接触り普通紙とは違った感触を知ってもらいたい、日常使い終わった物等に和紙を貼り新しい物作りをして喜びを1人でも多く感じてもらえれば良いと思う。 年齢問わず和紙の見直しに繋がると思っての活動。
団体紹介	多くの人達に自然から出来る和紙を知ってもらいたいというところから始まった。(こうぞ)の皮から手で全て作りあげた和紙。 ちぎり絵を作るには紙の種類も何通りもあり色も手染の為一枚として同色の和紙はなく貼る糊も昔ながらのヤマト糊を使う(長期間作品の変化がなく和紙の特徴である毛羽立ちを出す為)作品作りも同じ一枚の和紙を使って、同じ題材を作るとしても、その人の感覚で同じ作品はできない、それが魅力的である。
その他・写真	

板橋区立エコポリスセンター
〒174-0063　東京都板橋区前野町4-6-1
Tel　03-5970-5001　Fax　03-5970-2255
https://itbs-ecopo.jp/
（指定管理者）　板橋エコみらいプロジェクト

登録環境団体のご紹介 2023年度　2023年6月発行